



Letter from Koutokuji Temple



裏庭のお地藏さん。梅の木の下でじっと春を待ちます。

私の人生は私以外に生きられない
食事もトイレも寝ることも、すべて私の人生です

随処作主(ずいしょにしよとなる)という禅語があります。どこにあっても我が人生。私の代わりに誰かにご飯を食べてもらうわけにはいかないし、誰かにトイレに行ってもらわうわけにもいけません。私の息は私が吸って吐かないと。でも、その私、とは。私が私が、と思わなくても息は肺に入っていく、肺からまた息が吐き出される。私が私が、と思わなくても血は巡り、唾液は流れる。私のいのちはたくさんさんの働きによって有機的に成り立ち、その上で、「私が」生きている。そこから立ち現れてくるのは、広大ないのちの広がり、そこへの感謝です。今日も一日心穏やかに過ごせますように。合掌。

お寺のできごと

雪の少ない冬かと思えば、二月になりどっと雪かきに追われる毎日。その雪の裏では、見えないけれど、もう春の準備が進んでいます。



コロナウイルス感染者数が少なかった十二月に、久々のイベントを開催。「チェンバリズム!」の方がお寺に来て、子どものための音楽会を開いてくれました。チェンバロやヴァイオリンなど荘厳な音が玄関ホールに響きました。また、お檀家の木幡恵子さんが「親子クッキング」を開催。五組の家族が調理を楽しみました。フードパントリー(食品無料配布活動)もお陰様で毎月続けることができている。地域のぬくもりが伝わるあったかい雰囲気です。元旦には年分行持のご祈祷が厳肅に執り行われました。



▶ 山門の瓦屋根を住職が雪下ろしします。副住職も朝、除雪機で境内の雪かきを。



▶ 先代より伝えられた毎年恒例のニシン漬け。



▶ 元旦1月1日0時より三社殿にて「元朝祈禱」。終って朝のお勤めが本堂で修行されました。お正月のお参りでは、祈禱されたお札をお配りしています。



▶ 感染者数が少なかった12月18日に子どものための音楽イベント。お寺の玄関がコンサートホールに。



▶ 12月19日に木幡恵子さんが「親子クッキング」をお寺で開催しました。家族単位で久々の会食形式でした。



▶ お陰様で、お寺を会場にしたフードパントリーを1年続けることができました。地域のぬくもりを届けます。

五年先、十年先の見えない社会情勢。物価・灯油代の上昇とゆるくないですが、こういう時代だからこそ支え合うことが大切だと思っています。

年を重ねても健康な秘訣とは？



お参りに伺って、元気な高齢者とお話するたびに思うことです。

最近の結論は。

- 一、自分のことは自分でしている
- 二、よくおしゃべりする
- 三、適度に身体を動かしている

もちろん、年を重ねれば、病を患ったり足腰も弱くはなりません。頭も昔のように働かないかもしれない。

ですが、自分でできることは最後まで自分でつとめるという態度は、自分の人生は自分以外に生きることができない、という生き方にほかなりません。

宮沢賢治に「(手は熱く足はなゆれど)」という詩があります。

手は熱く足はなゆれど
われはこれ塔を建つるもの

たとえ、手足の自由がきかなくなったとしても、あるいは平常な思考を保てないような精神状態だったとしても、私は塔を建てる者だ。しずかに、しかも強い意志をもって、賢治は宣言します。人間として泥にまみれどうしようもないような生き方をしして、もう私だからこそ、今ここに塔を建てる。

仏のいのちとして一歩一歩あゆんでいく私だからこそ、今ここに塔を建てる。

境内整備工事が今春はじまります

一月十七日、前田道路(株)、(株)山建中川組二社より送付された見積書を開封し検討が行われ、前田道路(株)が施工することとなりました。山門と本堂をつなぐ参道と境内アスファルト舗装工事、墓地水場の移設工事等です。工事は四月から五月を予定しています。お参りにご不便おかけすることになります。ご理解の程宜しくお願い致します。



▶護持会総会の様子。

春の広徳寺の行持

坐禅・写経を受け付けています。一緒に、お寺の静寂を味わいましょう

梅花流詠讃歌

御詠歌は心の安らぎです。御詠歌と一緒に、お唱えしませんか。土曜日午後一時半から。

お寺でボディメイク

お寺でかんたん体操。あまり、無理な姿勢はとらないので、ご心配なく。いつもとは異なる本堂の空気を味わってください。

要予約

- 3月5日
- 4月9日
- 5月21日
- [午後6時半より]

朝のおつとめ

早朝6時40分より本堂で15分のお参り。申込みが必要です。手ぶらでお越しください。

護持会総会において「広徳寺通信」の費用見直しの意見がありましたので、カラーをモノクロに、紙面の大きさも小さくしてお届けいたします。お寺が身近になりますように、今後も精進してまいります。



【12月18日】
「子どものための音楽会」



【12月19日】
「親子クッキング」



【2月13日】
「朝のおつとめ」



「こういう高齢者になりたいな」という方を手本に、その生き方スキルを日々盗んでいる私があります。

よき習慣とは、人間の時間軸を離れた、仏の時間軸、広大なのちの時間軸に身を投げ入れ、心をひたす場所と時間を設けていること。そういう習慣は、たとえ、頭がよく働かなくなり、手足が思うようにならなくなったとしても、今際の際でも、私をそと支えてくれる。

考えてみると、私がお会いする高齢の方は、みな月命日を大切にしている方ばかり。だから、

四、よき習慣がある

塔を建てるとは？
生産性や効率さばかりを追求する生き方から離れた、賢治の菩薩としての生き方がそこにあります。

*